

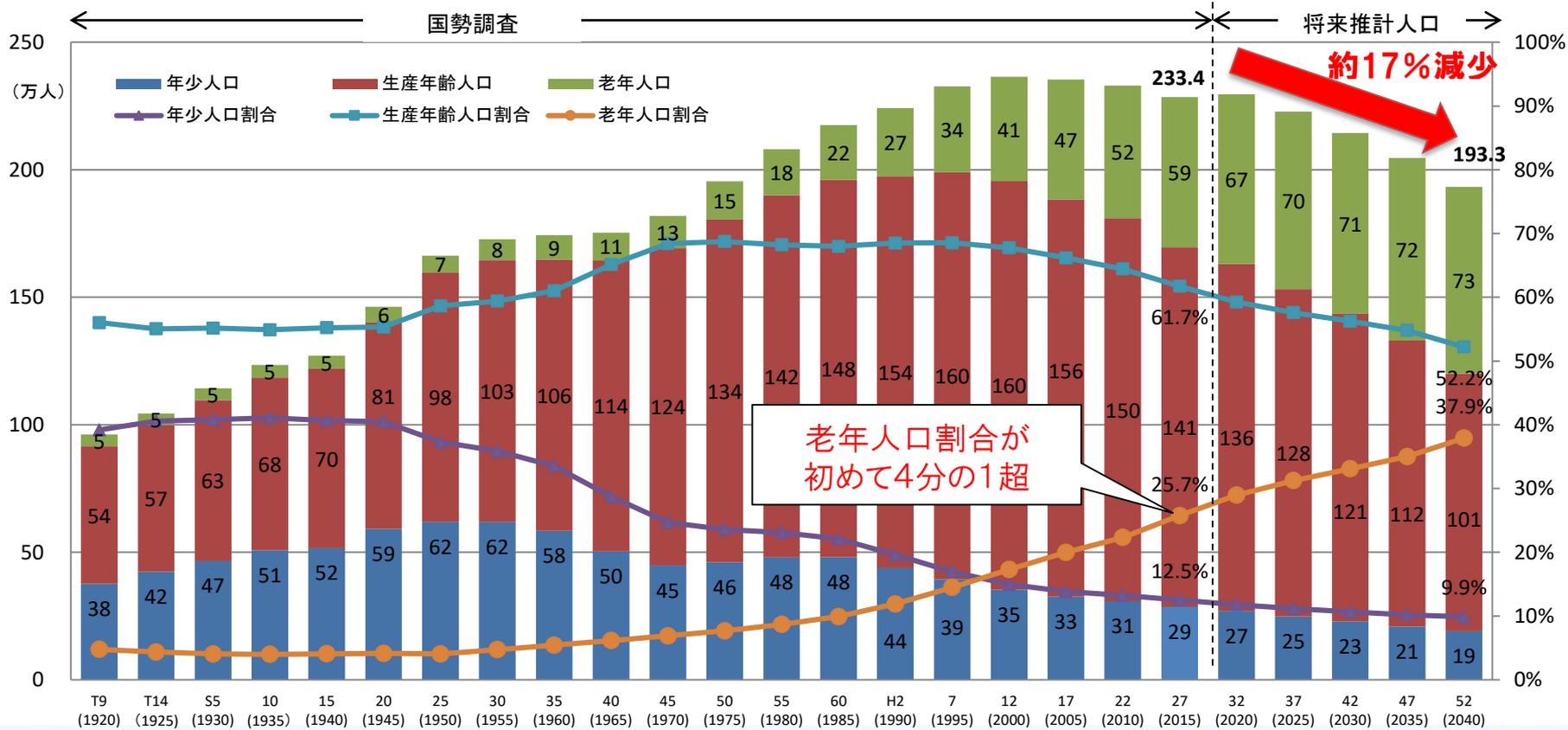
県有施設再編等の在り方検討懇話会 の開催について

2019(令和元)年5月20日
第1回県有施設再編等の在り方検討懇話会



(1)背景 ①人口減少・少子高齢化

- ◆ 平成27年の県人口は約233万4千人。
- ◆ 平成52年(2040年)の県人口は約193万3千人(平成27年から約17%減少)で、老年人口割合は37.9%に達すると見込まれている。



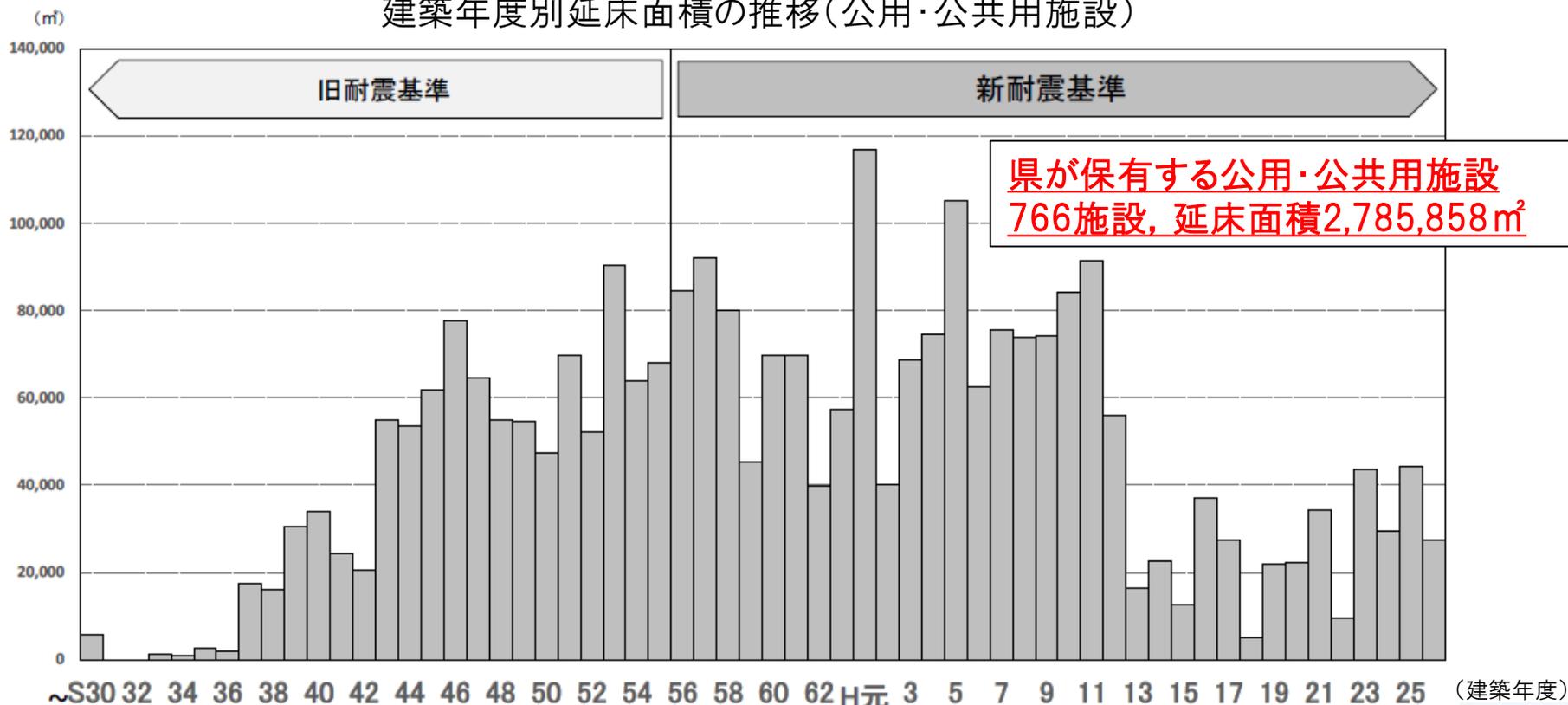
出典:「国勢調査」(総務省),「宮城県推計人口(各年10月1日現在の数字を使用)」(宮城県)
「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所



(1)背景 ②公共施設等の老朽化

- ◆ 昭和43(1968)年度から施設整備が増加し、バブル経済期以降大型施設の建設が加わる。平成13(2001)年度以降は激減している。
- ◆ 旧耐震基準が適用されていた昭和55年(1980)年度以前に建設された現有施設は34.8%にのぼる。

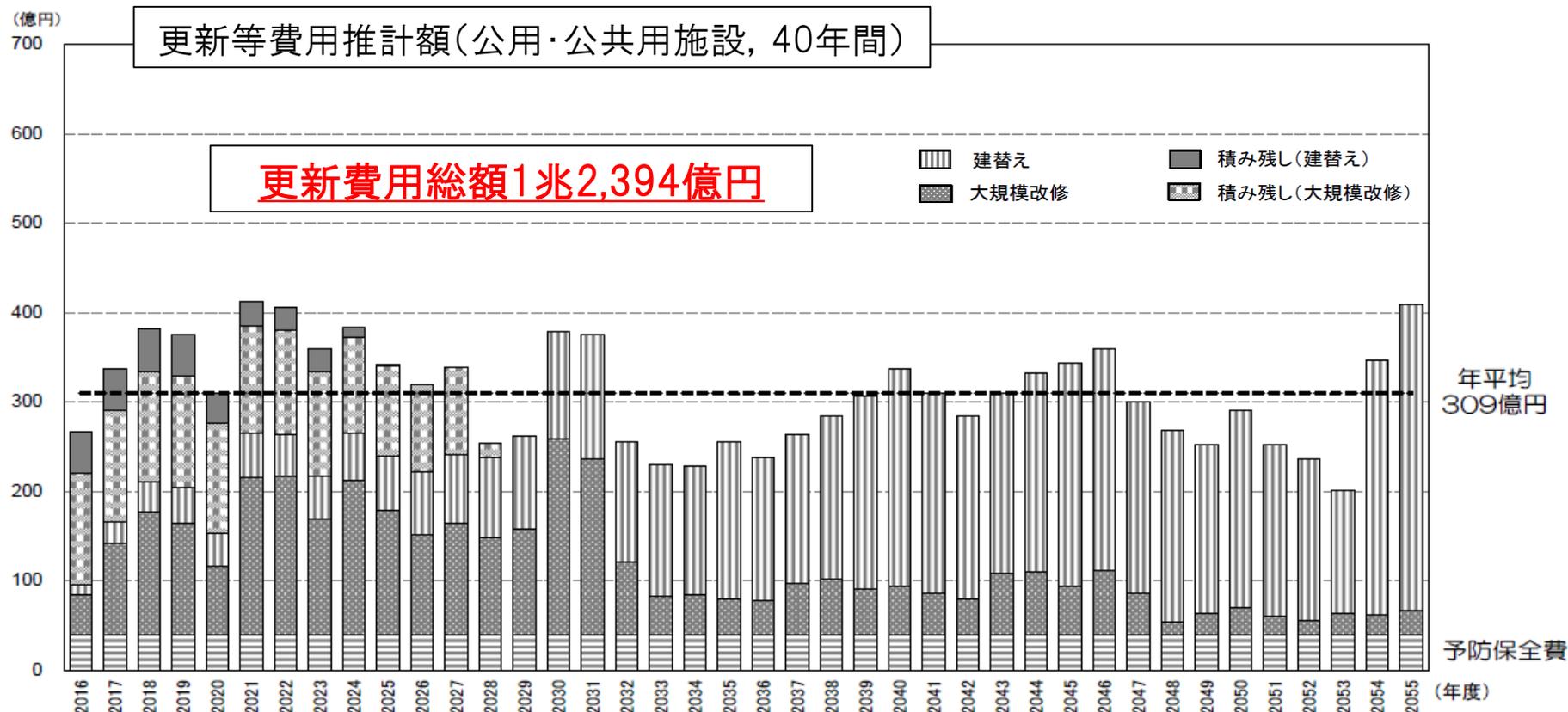
建築年度別延床面積の推移(公用・公共用施設)



(1)背景 ③公共施設等の更新等費用推計

◆ 公共施設等の更新等に係る経費の推計※は、40年間の総額約1兆2,394億円、年平均309億円となる。

※耐用年数が30%伸びるよう長寿命化し、同一延べ床面積で更新する場合



出典: 宮城県公共施設等総合管理方針(一部加工)



(1)背景 ④国や全国の地方公共団体の動き

国

◆ 人口減少社会における公共施設等のストック適正化を推進

- ・地方公共団体による公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の策定を促進
- ・地方債の活用により地方公共団体が行う公共施設の集約化・複合化等を具体的に支援(公共施設等適正管理推進事業債)

地方公共団体



生涯学習センター(公民館),
図書館, 芸術文化ホール等
を融合した文化施設

音楽演劇ホール, 公民館,
図書館, 郷土資料館の機能
を備えた文化複合施設

文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)



新潟市江南区文化会館(新潟県新潟市)



(2) 目的と検討課題

開催の目的

- ◆ 大規模修繕・改築や移転等が必要な施設を中心に、所管部局を横断した効率的な再編整備等の在り方について、財源の確保や見通し、民間活力の導入の観点を変えながら検討を行う。

検討課題

- ◆ 検討対象となる県関係施設等の再編整備の在り方に関する次の事項
 - ① 各施設の再編(集約・複合化／統廃合／個別整備)の方針
 - ② 集約・複合化する施設の規模, 機能, 整備方法
 - ③ 移転等に伴い生じる跡地の利活用方策